



社会福祉法人 いのちの電話

東京で輝く、
自分らしく。



困難に直面する女性等に寄り添う相談事業により50年にわたり自殺予防に寄与

取組内容

【悩みや不安を抱える人を支える相談事業】

- ・1971年に開局以来、女性が7割以上を占めるボランティア相談員を中心に半世紀にわたり活動
- ・コロナ禍で相談内容が深刻化する中、女性が約6割を占める相談者の悩みに寄り添い事業を継続

【自殺予防に向けた取組】

- ・自殺予防対策オープンセミナーの開催
- ・都内各地で自殺予防グッズを配布



【設 立】昭和46年10月

【代 表 者】末松 涉

【相 談 員】241人(女性190人、男性51人)

【所 在 地】千代田区

【事業概要】自殺予防を目的に、悩みや不安を抱える人の電話相談を行う「東京いのちの電話」センターを運営



厚生省自殺予防オープンセミナー



電話相談室の様子 現在



バザー風景 昭和50年代

背景・経緯

- 1971年に日本で最初の「いのちの電話」を女性2名を中心に立ち上げ
- ボランティア相談員による24時間体制の相談事業を実施



効果

- 東京から始まった活動が波及し、全国に約50の「いのちの電話」センターが設立
- 電話相談受信件数 16,626件(女性9,598件、男性7,028件)(2020年度)